

# 「鋳物」で巡る枚方ツーリズム初開催

## 技術の「今昔」、資料館と企業の工場で間近に 10月から全3回

市は10月から11月にかけて、旧田中家鋳物民俗資料館(藤阪天神町)と市内企業の工場を同時に巡る「くらわんか鋳物ツーリズム2022」を開催する。対象は小・中学生がいる家族。同資料館は江戸時代を通じて枚方で長く培われてきた鋳物業の歴史を紹介している全国でも珍しい鋳造関係の専門資料館。鋳物はエンジンの部品やポンプの製造など現在の社会生活にも欠かせない技術であり、市内に多くの製造企業がある。資料館と市内企業を見学し、鋳物技術の「今昔」を通じて枚方のまちの歴史や市内の産業について興味を持ってもらうとともに、同資料館の意義や知名度を高めることが狙い。

★日時：①10月10日(月・祝)、②11月3日(木・祝)・③11月23日(水・祝)。

いずれも午前中は旧田中家鋳物民俗資料館で鋳物や枚方の鋳造の歴史について、学芸員から展示解説と触ることのできる模型などのレクチャーを受け、午後からは市内企業の工場で最新の鋳造技術や製品化されるまでの過程を見学する。午後から見学する工場は開催日で異なり、①寿ダイカスト工業(春日北町1)②コマツ大阪工場(上野3)③クボタ枚方製造所(中宮大池1)となる。

★午前のレクチャーには、国立民族学博物館との共同研究で開発したパッケージ『地域文化の宝箱「枚方の鋳物づくりと昔のくらし」』を使用。小学生が枚方の昔の鋳物づくりを学ぶことができるように、鋳物や鋳物づくりに関係する模型や実物大写真などがスーツケースに収められたもので、見たり触れたりしながら、自然と学びができる仕掛けになっている。

★「旧田中家鋳物民俗資料館」は古くから枚方上之町で鋳物業を営んでいた田中家の鋳物工場と主屋を移築・活用した資料館。鋳物の歴史や枚方の民具を展示している。現存する江戸時代の鋳物工場は日本唯一で、主屋とともに大阪府指定有形文化財に指定されている。田中家は江戸時代を通じて、近隣の人々が日常生活に使う鍋・釜や農具の他、寺院の梵鐘などを鋳造したが、昭和35年頃廃業。鋳物工場と隣接した主屋を枚方市に寄贈。市は王仁公園の一角(現在地)に移築復原し、資料館として保存・活用している。



★「寿ダイカスト工業株式会社」はダイカスト部品の製造メーカー。技術力と品質の高さを認められ、日本の自動車メーカー純正部品の製造依頼を多数受注している。取引実績社数は36業種・147社、取扱製品は2,000点と、自動車メーカーを中心に多品種の製造を担い、人々の暮らしを豊かにすべく技術革新に努めている。

★「コマツ大阪工場」は生産・開発・研究の三部門が一体となり、品質と信頼性の高い製品を生産している。主要製品の油圧ショベルやブルドーザーは国内トップシェアを占める。また、工場内にある技能訓練センタは、高品質な製品づくりを支える技能者の育成支援。生産技術開発センタは、建設機械の生産改革や商品性能の向上を目指し研究を行っている。

★「クボタ枚方製造所」は建設機械部門、ポンプバルブ部門、鋳鋼部門で構成され、主要製品はミニバックホー、ポンプバルブ、反応管などを生産している。特にミニバックホーは世界トップシェアにあり、枚方製造所では年間約 5.4 万台を生産している。「マテリアル・キャスティングセンター」では、製品に関わる材料の分析評価、解析など高性能化に取り組む。

★申込については、下記参照

第1弾 旧田中家鋳物民俗資料館・寿ダイカスト工業株式会社

日 時：10月10日（月・祝）午前10時30分～午後3時

申込方法：市ホームページ、はがき

申込期間：9月1日～9月20日（はがきは9月20日消印有効）

第2弾 旧田中家鋳物民俗資料館・コマツ大阪工場

日 時：11月3日（木・祝）午前10時30分～午後3時

申込方法：市ホームページ、はがき

申込期間：10月1日～10月14日（はがきは10月14日消印有効）

第3弾 旧田中家鋳物民俗資料館・クボタ枚方製造所

日 時：11月23日（水・祝）午前10時30分～午後2時45分

申込方法：市ホームページ、はがき

申込期間：10月25日～11月7日（はがきは11月7日消印有効）

★募集内容

参加条件：小・中学生の子どもがいる家族（子どもの参加が必須）

家族単位：抽選で各5家族程度。参加費：無料。詳細は市ホームページを参照

URL：<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000046245.html>（9月1日公開予定）

<お問い合わせ>

観光にぎわい部 文化財課

☎：072-841-1411 FAX：072-841-1278